

岩波講座

哲学

07



芸術／創造性の哲学

【編集委員】

飯田 隆
伊藤邦武
井上達夫
川本隆史
熊野純彦
篠原資明
清水哲郎
末木文美士
中岡成文
中畑正志
野家啓一
村田純一

いまだ創造性はあるのか
新しいメディアの時代に
ジャンルを超えて芸術が生成する場とは
想像力の可能性を再検討する



岩波書店 第7巻 第8回配本(全15巻) 定価(本体3200円+税)

岩波講座

哲学

07



芸術／創造性の哲学

第八回配本

危機の
中の美



岩波書店

▼ 全巻構成

【知の座標軸】

01 いま〈哲学する〉ことへ

【哲学の求心力】

- 02 形而上学の現在
- 03 言語／思考の哲学
- 04 知識／情報の哲学
- 05 心／脳の哲学
- 06 モラル／行為の哲学
- 07 芸術／創造性の哲学

【哲学の遠心力】

- 08 生命／環境の哲学
- 09 科学／技術の哲学
- 10 社会／公共性の哲学
- 11 歴史／物語の哲学
- 12 性／愛の哲学
- 13 宗教／超越の哲学

【知のヒストリア】

- 14 哲学史の哲学
- 15 変貌する哲学



9784000112673



1920310032005

ISBN978-4-00-011267-3

C0310 ¥3200E

定価（本体3200円＋税）

第7巻 第8回配本（全15巻）

岩波書店

【展望】 芸術の生成をめぐって

I 創造性の諸様態

- 1 存在と無の（あいだ）
—— 創造性について
- 2 想像力と形
- 3 美学的カテゴリー論再考
- 4 受け手の役割

II 創造性の再検討

- 1 メディアとジャンルの越境と横断
- 2 危機の時代とアート
—— アートワールドの外へ
- 3 芸術の方法と方法の芸術
- 4 世界における日本の美学

【探究】 現前と痕跡

概念と方法
テキストからの展望